

平成21年度決算の概要

平成21年度決算について、6月29日開催の第140回組合会で議決されましたので、その概要をお知らせします。

総括事項

組合員数及び被扶養者数とも、平成20年度末と比較すると組合員で347人、被扶養者で449人の減少となりました。また、この組合員数の減少に加え、人事院勧告等に準じて給料等が引き下げられたことから、掛金等の標準となる給料月額や期末手当等の額についても大幅な減少となりました。



■ 地方公共団体の数

市	12
町	15
村	12
一部事務組合等	32
計	71

■ 組合員等の状況

種別	組合員数 (人)	被扶養者数 (人)	適用 区分	給料月額 (円)	平均給 料月額 (円)	期末手当等年度 累計額 (円)
一般組合員 (うち特別職)	12,578 (84)	14,959 (89)	長期	4,149,681,501 (46,137,400)	329,916 (549,255)	19,292,408,000 (179,266,000)
			短期	4,155,907,451 (49,002,500)	330,411 (583,363)	19,316,488,000 (190,036,000)
市町村長組合員	35	38	長期	21,043,600	601,246	88,331,000
			短期	25,975,000	742,143	103,495,000
特定消防組合員	1,670	3,162	長期	522,251,135	312,725	2,499,343,000
			短期	522,251,135	312,725	2,499,343,000
市町村長 長期組合員 ^{注1}	4	0	長期	2,480,000	620,000	8,996,000
			短期	2,653,000	663,250	8,996,000
任意継続組合員	391	351	短期	116,888,554	298,948	-
合 計 《前年度対比》	14,678 《▲347》	18,510 《▲449》	長期	4,695,456,236 《▲158,333,125》	-	21,889,078,000 《▲2,499,822,000》
			短期	4,823,675,140 《▲158,794,886》	-	21,928,322,000 《▲2,529,299,000》

組合員1人当たりの被扶養者数(扶養率) = 1.26人 《前年度対比 ±0》

注1:「市町村長長期組合員」とは、75歳以上の市町村長組合員をいう。

短期経理

収入合計 10,200,550 千円 - 支出合計 9,974,253 千円 = 226,297 千円

(内訳 当期短期利益金 263,394 千円, 当期介護損失金 37,097 千円)

この経理は、組合員や被扶養者の皆さんの病気やケガ等による医療費等の給付などを行う経理です。

収入は財源率の引き上げなどにより前年度から約3億6062万円の増、支出は拠出金等の減少などにより約3億3432万円の減となり、収支の結果、標記の当期短期利益金と当期介護損失金を生じました。

この当期短期利益金は、前年度より繰り越した短期繰越欠損金に全額充当しましたが、なお不足する分を短期繰越欠損金として翌年度へ繰り越すこととなりました。

また、当期介護損失金は、前年度より繰り越した介護積立金を全額取り崩して補填しましたが、不足する分を介護繰越欠損金として翌年度へ繰り越すこととなりました。

《欠損金内訳》

短期繰越欠損金: 43,226 千円

介護繰越欠損金: 1,347 千円

◆ 貸借対照表 (要旨)

単位: 千円

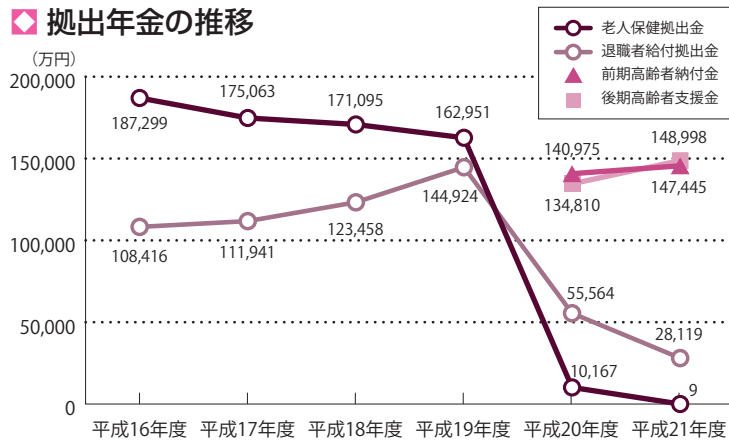
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,077,513	流動負債	355,945
		固定負債	766,141
		負債合計	1,122,086
		欠損金	44,573
		資本合計	44,573
資産合計	1,077,513	負債資本合計	1,077,513

◆ 損益計算書 (要旨)

単位: 千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	9,182,652 (9,182,652)	経常収益 (事業収益)	9,428,157 (8,525,498)
繰入金	25,417	(補助金等収入)	(892,231)
次年度繰越		(事業外収益)	(10,428)
支払準備金	766,141	前年度繰越	
特別損失	43	支払準備金	772,168
当期短期利益金	263,394	特別利益	225
		当期介護損失金	37,097
合計	10,237,647	合計	10,237,647

◆ 拠出年金の推移



◆ 平成21年度医療給付実績(現金給付を除く)

	件数(件)	日数(日)		金額(万円)	
		前年度比	前年度比	前年度比	前年度比
組合員本人	130,563 ▲1,250	243,134	27,811	179,572 ▲2,217	
家族	159,651 ▲1,198	297,432	25,480	247,180 ▲2,991	
合計	290,214 ▲2,448	540,566	53,291	426,752 ▲5,208	

長期経理

収入合計 19,250,087 千円 - 支出合計 19,250,087 千円 = 0 千円

この経理は、公的年金に係る掛金負担金を処理する経理です。

平成19年度より年金給付事業については全国市町村職員共済組合連合会(以下「市町村連合会」という。)が一元的に処理することとなりました。よって、当共済組合では、年金給付のための掛金負担金を徴収し、その全額を市町村連合会へ払い込んでいます。

財源率が段階的に引き上げられていることから、収入・支出共に、前年度から約8億3544万円の増となりました。

◆ 貸借対照表(要旨)

単位: 千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	1,065,153	流動負債	1,065,153
資産合計	1,065,153	負債資本合計	1,065,153

◆ 損益計算書(要旨)

単位: 千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	19,250,087 (19,250,087)	経常収益 (事業収益)	19,250,087 (19,250,087)
合計	19,250,087	合計	19,250,087

預託金管理経理

収入合計 310,005 千円 - 支出合計 310,005 千円 = 0 千円

この経理は、公的年金資金の一部について預託を受け、その管理・運用を行う経理です。

長期経理同様、公的年金資金についても平成19年度より市町村連合会に集約されていますが、その資金のうち、主に貸付経理への貸付資金や縁故地方債の引受資金について当共済組合が預託を受け、その管理・運用を行っています。

収入はすべて預託金の運用益となり、その全額を支出として市町村連合会へ払い込んでいます。なお、その預託金の一部について市町村連合会へ移管を行ったことなどにより、収入・支出共に、前年度から約3億7584万円の減となりました。

◆ 貸借対照表(要旨)

単位: 千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	821,498	固定負債	12,580,917
固定資産	11,759,419		
資産合計	12,580,917	負債資本合計	12,580,917

◆ 損益計算書(要旨)

単位: 千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	310,005 (310,005)	経常収益 (運用収入)	310,005 (310,005)
合計	310,005	合計	310,005

業務経理

収入合計 215,864 千円 - 支出合計 198,388 千円 = 17,476 千円
(当期利益金)

この経理は、当共済組合の短期給付事業及び長期給付事業に要する人件費や事務費等、また全体の管理運営上の諸経費などの事務コストを処理する経理です。

財源は、地方公共団体から徴収した事務費負担金と市町村連合会の長期経理からの繰入金のうちから、市町村連合会より措置される交付金と短期経理からの繰入金です。

収入は国から地方公共団体へ財源措置されています事務費負担金の単価が引き上げられたことなどにより前年度から約742万円の増、支出は事務コストの圧縮を図ったことなどにより約760万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金は前年度より繰り越した積立金と合わせ、翌年度に繰り越すこととなりました。

◀ 剰余金内訳 ▶

積立金: 92,610 千円

◆ 貸借対照表(要旨)

単位: 千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	147,210	流動負債	6,905
固定資産	7,799	固定負債	55,494
		負債合計	62,399
		剰余金	92,610
		資本合計	92,610
資産合計	155,009	負債資本合計	155,009

◆ 損益計算書(要旨)

単位: 千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	198,388 (198,388)	経常収益 (事業収益)	190,447 (137,434)
当期利益金	17,476	(補助金等収入)	(52,814)
		(事業外収益)	(199)
		繰入金	25,417
合計	215,864	合計	215,864

保健経理

収入合計 356,470 千円 - 支出合計 301,710 千円 = 54,760 千円
(当期利益金)

この経理は、組合員やそのご家族の皆さんの健康管理に役立てていただくため、成人病健診、人間ドック、保健講座、助成事業、特定健康診査、特定保健指導などを行う経理です。

収入は組合員数の減少などにより前年度から約 1979 万円の減、支出は宿泊経理への繰入がないことなどにより約 2393 万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金のうち約 25 万円を欠損金補てん積立金へ積み立て、残りを前年度より繰り越した積立金と合わせ、翌年度に繰り越すこととなりました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金： 414 千円
積立金： 464,969 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	557,457	流動負債	31,437
固定資産	8,286	固定負債	68,923
		負債合計	100,360
		剰余金	465,383
		資本合計	465,383
資産合計	565,743	負債資本合計	565,743

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	301,694 (301,694)	経常収益 (事業収益)	356,460 (350,580)
特別損失	16	(補助金等収入)	(4,762)
当期利益金	54,760	(事業外収益)	(1,118)
		特別利益	10
合計	356,470	合計	356,470

宿泊経理

収入合計 1,675 千円 - 支出合計 20,994 千円 = ▲19,319 千円
(当期損失金)

この経理は、宿泊施設を運営するための経理でしたが、平成 21 年 3 月末日をもって事業を廃止したことにより、売却等による処分が完了するまでの間の土地・建物等の所有に係る維持管理を行う経理です。

収入は事業の廃止などにより前年度から約 2473 万円の減、支出は約 219 万円の減となり、収支の結果、標記の当期損失金を生じました。

この当期損失金は前年度より繰り越した積立金より取り崩して補てんし、積立金の残額を翌年度に繰り越すこととなりました。

《剰余金内訳》

別途積立金： 390,000 千円
欠損金補てん積立金： 51,764 千円
積立金： 10,897 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	27,202	流動負債	24
固定資産	425,483	負債合計	24
		剰余金	452,661
		資本合計	452,661
資産合計	452,685	負債資本合計	452,685

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用) (事業外費用)	20,244 (20,241) (3)	経常収益 (事業収益)	1,663 (1,581)
特別損失	750	(引当金等戻入)	(11)
		(事業外収益)	(71)
		特別利益	12
		当期損失金	19,319
合計	20,994	合計	20,994

貯金経理

収入合計 1,114,848 千円 - 支出合計 886,790 千円 = 228,058 千円
(当期利益金)

この経理は、組合員の皆さんからお預かりをした組合員貯金を、安全かつ効率的に運用し、利息として還元する経理です。

収入はリーマンショック以降の運用環境が低調であったことなどにより前年度から約 1 億 4450 万円の減、支出は支払利率を年 1.2% に引き下げたことなどにより約 2 億 7340 万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金は前年度より繰り越した欠損金補てん積立金と合わせ、翌年度へ繰り越すこととなりました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金： 2,748,865 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	5,704,433	流動負債	66,427,679
固定資産	63,542,656	固定負債	70,545
		負債合計	66,498,224
		剰余金	2,748,865
		資本合計	2,748,865
資産合計	69,247,089	負債資本合計	69,247,089

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	886,790 (886,790)	経常収益 (運用収入)	1,114,848 (1,114,848)
当期利益金	228,058		
合計	1,114,848	合計	1,114,848

◆平成 21 年度末の貯金の状況 ※《 》内は前年度対比を表す。

貯金総額	貯金者数	加入率	支払利率
663 億 4549 万円 《+1 億 4338 万円》	10,131 人 《▲368 人》	69.02% 《▲0.85%》	平成 21 年 4 月 1 日より 年 1.2%

貸付経理

収入合計 358,451 千円 - 支出合計 370,079 千円 = ▲11,628 千円
(当期損失金)

この経理は、組合員の皆さんが資金を必要とするときに、普通貸付・住宅貸付・入学貸付・修学貸付などの融資を行う経理です。

財源は、預託金管理経理及び短期経理からの借入金です。

収入は貸付金の減少に伴う利息収入の減少などにより前年度から約 7384 万円の減、支出についても貸付金の減少に伴う他経理への支払利息の減少などにより約 8952 万円の減となり、収支の結果、標記の当期損失金を生じました。

この当期損失金は前年度より繰り越した欠損金補てん積立金を取り崩して補てんし、欠損金補てん積立金の残額を翌年度に繰り越すこととなりました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金： 108,489 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	739,563	流動負債	1,806
固定資産	10,488,015	固定負債	11,117,283
		負債合計	11,119,089
		剰余金	108,489
		資本合計	108,489
資産合計	11,227,578	負債資本合計	11,227,578

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	370,079 (370,079)	経常収益 (事業収益)	358,451 (307,518)
		(補助金等収入)	(50,002)
		(事業外収益)	(931)
		当期損失金	11,628
合計	370,079	合計	370,079

◆平成 21 年度末の貸付金の状況 ※《 》内は前年度対比を表す。

貸付総額	貸付件数	主な貸付金の利率
104 億 8228 万円《▲17 億 1530 万円》	4,467 件《▲493 件》	普通住宅特別：年 2.66% 災害：年 2.22%

共済ニュース リニューアル について

この度、皆様に有用な情報をわかりやすく、かつ読みやすい紙面づくりを目指して「共済ニュース すこやか」をリニューアルいたしました。それに伴い、シリーズとして連載しておりました「すこやかさん」「わがまち自慢」は一時休止させていただきます。

再開・新企画等につきましては、おって本誌にてお伝えします。

ジェネリック医薬品を 活用しましょう



ジェネリック医薬品は、新薬（先発医薬品）と同じ有効成分、同じ効能・効果があり、安全性においても同等の医薬品です。

新薬の約 2～7 割程度の価格となり、皆さんの自己負担額の軽減、短期（医療）財政の改善につながります。

診察のとき、医師に「ジェネリック医薬品希望カード」を見せ上手に活用してください。